# 住宅設備・建材・資材

## 標準部材にロゴマーク

### 長住協

## 10月から運用開始
### まずは5種類、順次拡大

長期使用住宅部材標準化推進協議会（会長＝西村達志・大和ハウス工業代表取締役専務執行役員、略称＝長住協）はこのほど、長期使用対応部材のシンボルマーク『Cjkマーク』を商標登録した。今年の10月から運用を開始する。同マークは、住宅用アルミサッシのクレセントや戸車などの協議会が選定した5種類の部材について、協議会が定めた標準化仕様に適合することを示す共通のマークとして、メーカーのパンフレットやカタログなどに表示する。住宅部材の標準化を図ることで、メンテナンス・取り替え・改修性を向上させ、長寿命住宅の基盤作りを進める。

商標登録した「Cjkマーク」

シンボルマークは、同協議会の略称「長住協（CHOJUKYO）」の頭文字が家の中で暮らしている様子をデザインした。同協議会に所属するメーカー製品のうち、協議会が定めた仕様・基準に適合する部材に対して、マークを貼付する。

同協議会は、住宅部材の標準化・共通化を通じて「長寿命住宅の基盤作りの実現」を目指し、2008年7月に発足した。大手住宅企業や建材・設備などの23社が参画し、標準化部材の推進・普及促進と維持に努めている。部材交換が発生しやすい建材に業界統一仕様を設けることで、メンテナンス用交換部材の長期的・安定的な確保や改修コストの低減、維持管理方法の共通化などにつなげたい考えだ。

同協議会は、㈳日本サッシ協会やキッチン・バス工業会などの業界団体と協力しながら、現在市場に流通している部材のうち、メーカー独自の特徴や技術開発競争を阻害しない範囲で、寸法や仕様、モジュールなどの基本規定を定め、長期使用対応部材の検討・研究から審査・承認・登録などを行っている。

これまでに標準・共通仕様を策定した項目は、①住宅用アルミサッシのクレセント②戸車③キッチンや洗面化粧台のスライド丁番④台付シングル混合水栓⑤平型屋根用スレート瓦―の5種類。

同協議会は、このほど商標登録したシンボルマークの活用とともに、標準・共通仕様の範囲拡大を進め、長期使用対応部材の市場への浸透と認知向上に力を入れる。

---

## 現場に技術革新を
### 一社長

水回りメーカー・INAXが持つポテンシャルを知り、新築向けやX社長からLIXIL金属建材カンパニー社長に就任した川本氏は、自身の人事について「新しい一つの会社をとらえる。

・建材カンパニー社長に就ることから始めた。これらの能力を最大化するための施策をカンパニー戦略に盛こんでいる。

DIY向けなど、各ブランドの整合性をとる

OL
一社長に聞く②

---

日本シャッター・ドア協会

## ストック対策で維持
## 管理指針策定に着手

岩部金吾会長

社団法人日本シャッター・ドア協会（岩部金吾会長）は通常総会を開き、2011年度事業計画を承認した。推計300万㎡以上の重量シャッターが設置されている業界背景から、シャッター・ドアのストック対策を重点課題に位置づけ、今年度から「シャッター・ドアの安全と維持管理の指針」の策定に向けた検討に着手した。また、評定認定・登録事業では、従来からの保守点検技術者育成講習会の開催に加えて、施工品質を向上させるための施策を両だて

---

SATIS10周年記念モデル発売

COS」（大先争ラッ）土本本面格は4万625のトイレを実現した。

---

㈳ペターリビングは、5月25日に都内で開催された2011ウィズガス・エコフォーラム内で「ブルー&グリーンプロジェクト」に参加する流通事業者のうち、各社が定めた目標数値を達成した16事業者に感謝状を進呈した。

同プロジェクトは、BLIbsガス給湯・暖房機の出荷1台につきペト

---

YKKAP 10年度決算

## 黒字化
### 改修費39億円

YKKAPの2011年3月期通期業績は、売上高2737億4800万円（前期比4・4％増）、営業利益23億1400万円（前期から94億460 0万円の増加）、経常利益19 83億セ

---

三協・立山ホールディング事業